

平成30年度自己評価表

鳥取県立境高等学校 平成30年5月8日現在

中長期目標 (学校ビジョン) 21世紀に生きる社会人として、生きる力と豊かな人間性を育成する。 ・多様な生徒に応じた教育課程・クラス編成等により、学力の向上と進路を実現する。 ・切磋琢磨し、自己の多様な能力・適性を発見して才能の開花を図る。 ・地域に信頼され、地域の期待に応え、地域を支える学校づくりをすすめる。 校訓 「文武両道」「質実剛健」	今年度の 重点目標 1. 人間教育（命の教育）を充実 2. 学ぶ姿勢を確立して目指す進路を実現 3. 部活動の振興を基軸としたチーム境高意識の高揚 4. 基本的生活習慣の確立とコミュニケーション力の向上
--	---

年 度 当 初				評 価 結 果 (最終評価)					
評価項目	評価の具体項目	現状（29年度の実績から）	目標（30年度の目指す姿）	目標達成のための方策	達成状況	評価	改善方策		
1. 人間教育（命の教育）を充実	○「自分や他人を大切にすることができた」と回答する生徒の割合が9割を超えること。	○生徒情報共有し、ていねいな指導、支援を意識し、進路即対応がおおよそできている。一方で悩みをかかえている生徒の相談に対し、各部署の連携がでない場面もあった。	○生徒の細かな変化、気になる言動に注意を向け、生徒一人ひとりの状況を全教職員が把握できているという人権尊重意識の高い職場	○悩みを抱えていたり、嫌な思いをしている生徒の声を拾える機会を増やしていく取組を強化する。	人間教育全体計画（仮称）の作成				
	○「生徒は自分や他人を大切にすることができるようになった」と回答する教員の割合が9割を超えること。	○性や命に対する意識が希薄な生徒や、自己肯定感が低い生徒に対する指導のあり方を考える必要がある。	○主幹教諭・教科担当者による個別面談指導の強化	○規範意識・人権意識は、担任だけでなくクラスや生徒に関わる副担任・部活顧問・教科担当等多くの教員に関わることで形成されるため、学校全体で生徒を育てる手立てを構築する。					
2. 学ぶ姿勢を確立して目指す進路を実現	○「進路目標を定め、その実現に向けて家庭学習を進めた」と回答する生徒の割合が5割を超えること。	○学年団・進路部の連携による生徒への働きかけ、英語科による多読授業によって、学ぶ姿勢を身につけようとする生徒が増えた。	○生徒が3年間をとおして進路目標を持ち、その実現に向けて努力する姿の確立	○1年次生の習熟クラスを中心に生徒の学習を支援するクラウドサービスを導入し、自ら学ぶ力を育成する。	Classiの導入(1年)		進学希望者対象の大学生等との交流・就職希望者対象のインターンシップ(2年)		
	○「進路目標を定めその実現に向けて家庭学習を進めた」に「あてはまる」と回答した生徒の割合は約3割であった。	○放課後、3年団では学習室を設定し、12月時点で30人前後の生徒が自主的に居残り学習を行った。個人成績のみではなく、受験生としての連帯感を強めることができる等、効果があった。	○主幹教諭・教科担当者による個別面談指導の強化	○2年次生は、上級学校訪問や先輩との交流、民間企業へのインターンシップ等の取組をとおして、学ぶ意欲（「なぜ学ぶのか」を徹底する）の向上を図る。				土曜学習会(3年)	
	○「授業の内容に興味をわき、理解が深まった」と回答する生徒の割合が8割を超えること。	○中国語、ハングルを選択している生徒が国際交流やコンテストに参加する等、意欲的に取り組む姿が見られた。	○学習のつまづきを随時克服する体制の構築	○3年次生は習熟クラスを中心に土曜日学習会を開催し、大学受験に対応できる学力を育成する。					PTAとともに行くオープンキャンパス(全学年)
	○タブレット端末等のICTを活用した生徒主体の授業を8割以上の教員が実践すること。	○県外で開催された授業改革のための教科別の研修に4名が参加、先進校や高大接続改革のセミナーには、のべ13名を派遣し、その成果を校内の授業改革に還元した。	○カリキュラム改革の推進し、習熟クラスを充実	○週明けテストをはじめ校外模試等を大切にしている態度の確立					
○国公立大学現役進学者数が30名を超えること。	○学力上位の生徒の学力を伸ばさせていない。	○キャリア教育全体計画に基づいた明確な進路目標を設定	○学習・部活動の両立ができるよう、顧問・担任・進路で情報共有し生徒の進路実現を支援する。	○学校設定科目「英語多読」や「ハングル」、「中国語」の充実発展を図るとともに、外部講師等と連携した出前授業の機会を増やし、指導法の改善を図り、学習意欲を高める。	専門家と協働した授業実践(全教科)				
○国公立大学現役進学者数が30名を超えること。	○国公立大学現役進学者数は、23名（3月現在）であった。	○3年間を見通した指導による進路希望の実現	○校外模試対策（模試の振り返り）等の充実を図り、受験に対する意識を高める。	○目的別クラス編成に応じた授業展開を推進し、ノート点検・副教材・小テスト等を多角的に授業に取り入れ、授業を基軸とした学習習慣を確立する。				総合的な学習の時間の見直しを検討(探究的な活動の導入)	
		○習熟クラス等の目的別クラス編成に応じた丁寧できめ細やかな学習指導の実践	○総合的な学習の時間の見直しを図り、平成31年度2年次生から探究型の学習を導入する。	○専門家と協働した授業をすべての教科で実施し、教員の授業力の向上を図る。					
3. 部活動の振興を基軸としたチーム境高意識の高揚	○「部活動に入ってしっかり頑張った」と回答する生徒の割合が8割を超えること。	○部活動加入率は高く、習熟クラスの生徒も部活と勉強の両立に努力している。生徒は文武両道に対して前向きに頑張っているが、一部生徒は未だに部活動に偏っている。	○部活動の充実による特色ある教育の実践	○主幹教諭等を中心に生徒が部活動と学習活動の両立を図ることができるよう、部活動だけに偏るような生徒については意識変更を図る。	中学生向けパンフレットの作成				
	○全国大会出場者80名を超えること。	○全国大会出場者数は55名であった。	○文武両道の活力があり地域の誇りとなる普通科高校として存在	○外部指導者の充実を図るとともに、施設・設備等の充実を推進し、部活動にしっかり取り組める教育環境を整える。				運動部紹介ビデオの作成	
	○全国大会入賞者5名を超えること。	○ヨット部の国民体育大会入賞、男女ハンドボール部や写真部等が全国大会に出場する等、部活動が活性化している。	○県トップレベルの実績を持つ部活動を維持育成し、学校内外に活力ある境高を発信	○中学生向けパンフレットの作成や運動部の紹介ビデオ作成により、地域・全国へのPR活動を推進する。	体育クラス(1年次)の充実				
	○「部活動に入ってしっかり頑張った」と回答する生徒の割合が6割を超えた。	○スクールプロジェクト等の異校種間交流（連携）や、地域に要望に応じて地域に行く文化活動の取組も充実している。	○地域のボランティア活動への積極的な参加	○1年次体育クラスに専門的な講師を招いて、部活動に対する関心・意欲の向上を図る。					
4. 基本的生活習慣の確立とコミュニケーション力の向上	○ボランティア活動に参加する生徒の数が増加すること。	○ボランティア活動、学校周辺清掃、部活動等の取組をとおして、地域との連携が進んでいる。	○部活動において地域の人材の力を借りたり、生徒が小中学生に学習やスポーツを指導したりすることで地域の信頼を獲得	○境高スクールプロジェクトを年6回実施する。					
		○ボランティア活動に参加した生徒はのべ49名であった。	○キャリア教育において、児童・学生・大人等と関わりを深め、価値観の異なる他者とのコミュニケーションを図る力を育成	○1年次生キャリア研修では、地域の企業等から講師を招き、将来地域の発展に貢献する意欲を育てる。					
	○「挨拶・服装等けじめのある学校生活ができた」と回答する生徒の割合が8割を超えること。	○挨拶・服装・頭髪・清掃への取組など基本的生活習慣は定着している。「挨拶・服装等けじめのある学校生活ができた」と回答する生徒の割合も6割を超えている。ただし、挨拶は運動部の生徒を中心にできているが、女子の挨拶は改善が必要である。	○挨拶の励行、服装・清掃指導等の徹底	○生徒の自主活動を促し、生徒活動の充実を図る。					
	○「挨拶・服装等けじめのある学校生活ができた」と回答する生徒の割合が8割を超えること。	○学年集会を幾度も行い、本校生徒のあるべき姿について考えさせ、生活態度・モラル向上を図ることができた。	○人間性やコミュニケーション能力の向上	○服装・頭髪・挨拶等について生徒の自覚を高め、服装再指導による個別指導の徹底を図る。					
	○「挨拶・服装等けじめのある学校生活ができた」と回答する生徒の割合が8割を超えること。	○1年次生4月の人間関係育成研修は生徒からの評価も高く、効果が大きかった。	○けじめある生活態度の確立	○交通規則（法規）遵守、携帯電話・スマホ等使用上のモラルの向上を図る。					
	○「挨拶・服装等けじめのある学校生活ができた」と回答する生徒の割合が8割を超えること。	○1年次生4月の人間関係育成研修は生徒からの評価も高く、効果が大きかった。	○情報モラル教育の充実	○整理整頓、貴重品管理等、日常の生活意識の向上を図る。					
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○社会人講師を活用した授業や特別活動を実施し、専門家（54名）から話を聴く機会を設定することができた。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化	○ボランティア活動への参加を奨励するなど、生徒が学校とは異なる集団の中で自己を表現する場面を設定する。					
	○ゴミの分別・減量化について、平成25年度との比較で継続して減量を実現すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○社会に参画する力の育成	○校外のゴミ拾いだけでなく、トイレの徹底掃除・教室の換気等、生徒を校内環境改善の先頭に立たせる活動を増やす。					
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生徒が主体となって取り組む学校環境の整備	○学校祭は生徒会執行部を中心に、さらに生徒主体の自主活動を充実させる。					
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化	○県教委事業（生徒と社会がつながる教育推進事業）と連携するなど社会人講師の活用の充実を図る。					
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化	○日々の清掃活動や学校周辺清掃の徹底、ゴミの分別・減量化を引き続き推進する。（平成25年度との比較で6%減の実現）					
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化	○健康観察等の充実と適宜声かけ等、親身な指導を推進する。					
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、社会人講師（地域で活躍する大人等）の話を聞く機会を10回以上設定すること。	○進路先で生徒が困らないように、また相談できるように、大学入試センター試験後に専門家による講演等を計画し、生徒が社会を生き抜く力の育成を図った。	○生活指導と結びついた体験的な教育活動の活性化						
	○主権者教育、消費者教育、環境教育等の取組をとおして、								